

今、認知症の問題と向き合っている人たちと

これから向き合わなければならないすべての人たちへ

～僕ジョン・ハッピー・プロジェクト～

映画「僕がジョンと呼ばれるまで」八王子自主上映会

2024年9月21日(土)

北野市民センター8Fホール

(八王子市北野町545-3北野タウンビル)

映画上映回：上映終了後シェアタイムあり

①10:00～(12:00頃終了)

②14:30～(16:30)

③18:30～(20:30)

※各回定員200名

スペシャル対談：13:00～14:00

(先着150名・要事前申込)

※各回開場30分前～

看護師・僧侶 玉置 妙憂 先生



スペシャル対談



精神科医 八重樫 穂高 先生

アメリカの介護施設で行われたおばあちゃんたちの“チャレンジ”
それはみんなが笑顔になる希望の物語



人生を輝かせるヒントは
彼女が教えてくれた

82分/ドキュメンタリー/日本語字幕

僕がジョンと呼ばれるまで

プロデューサー：太田 茂 監督：風間 嘉美/太田 茂 構成：武田 浩/ロジャー・バルバース 撮影：松本 克巳 取材：水野 潤
スペシャルサポーター：株式会社 公文教育研究会/株式会社エーゼット/株式会社カープスジャパン/株式会社ジェー・シー・アイ/セコム株式会社
後援：日本赤十字社/公益財団法人 さわかほ福祉財団/公益社団法人 日本認知症グループホーム協会/財団法人 健康・生きがい開発財団/社会福祉法人 宮城康社会福祉協議会
技術協力：コスモ・スペース オブ アメリカ 制作協力：共同テレビジョン 制作・配給：仙台放送 配給協力：東風/協同組合ジャパン・ロスロシネマ・ネットワーク
2013 HD-DCP 日本・アメリカ 82分 ドキュメンタリー ©2013 仙台放送

2013年 アメリカドキュメンタリー映画祭 観客賞(外国作品) 2013年 クリーブランド国際映画祭 ロングフィルム部門(国際) 女性監督賞/ベストドキュメンタリー賞 2013年 www.bokujohn.jp facebook.com/bokujohn 2013年 ベルリン国際フィルム・アワード 特別選考賞 2013年 ロサンゼルス・ムービー・アワード 奨励賞

参加費 上映会のみ：大人¥1,000 中高生¥800 小学生以下無料

上映会+対談：大人¥1,500 中高生¥1,000

- 北野市民センターには専用駐車場はありません。できるだけ公共交通機関でご来場ください。
- イベントの収益は八王子市の認知症関連団体等へ寄付し、市民の高齢者福祉活動に役立てます。
- 映画「僕がジョンと呼ばれるまで」は、自主上映会のスクリーンでのみ鑑賞できる作品です。



医療法人社団永生会



明治安田
明治安田生命保険相互会社



医療法人社団永生会/スペースワンダートレーニングセンター/(株)テクノブレイン/日本生命保険相互会社/ファミリーヌ/明治安田生命保険相互会社/Momoki Music School

50音順

購入予約はこちら→



- 時間指定券です。ご希望上映回の手ケットをお買い求めください。
- 各回定員(200名)に達した時点で販売終了となります。

～スペシャルゲストご紹介～

八重樫 穂高(やえがし ほだか)



2011年 山梨大学医学部卒業
 2013年 山梨県立北病院
 精神科後期臨床研修医
 2016年 山梨県立北病院
 精神科医師

ニューヨークにてAmadorから「LEAP」のレクチャーを受ける
 「病気じゃないからほっといて(星和書店)」翻訳・出版

2020年 医療法人社団 永生会 永生病院 精神科医師
 2023年7月 医療法人社団 永生会 永生病院 精神科医長
 精神保健指定医、精神科専門医
 認知症臨床専門医、認知症診療医、認知症サポート医

玉置 妙憂(たまおき みょうゆう)

看護師・僧侶
 スピリチュアルケア師
 ケアマネージャー・看護教員

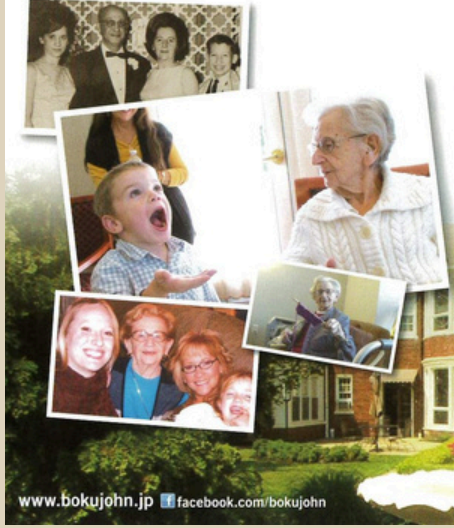


東京都中野区生まれ。専修大学法学部法律学科卒業。
 国際医療福祉大学大学院修士課程
 保健医療学看護管理専攻看護管理学修士。
 夫を在宅で看取ったことをきっかけに、出家。
 高野山での修行を経て、高野山真言宗阿闍梨となる。
 現在は非営利一般社団法人「大慈学苑」を設立し、
 終末期、ひきこもり、不登校、子育て、希死念慮、
 遺族の喪失悲嘆まで、幅広いスピリチュアルケアの
 実践・啓発に努めている。
 2023年『日本スピリチュアルケア実践協会』を設立。著書『まずは、あなたのコップを満たしましょう』(飛鳥新社)、『困ったら、やめる。迷ったら、離れる。』(大和出版)『死にゆく人の心に寄りそう 医療と宗教の間のケア』(光文社新書)、他多数。
 ラジオニッポン放送「テレフォン人生相談」パーソナリティ。

老いること、それは誰も避けることのできない人生の季節。
 肩の荷を下ろすように、少しずつ過去のことを忘れていくのは自然なことです。
 しかし、たとえば認知症。いまだに根本的な治療はなく、
 突然のことに本人も家族も戸惑います。
 私たちは、この難しい病とどうつき合っていけば良いのでしょうか？
 どうしたら人生の最後の季節を自分らしく生きることが出来るのでしょうか？



平均年齢80歳以上のアメリカ・オハイオ州にある高齢者介護施設。ここに暮らす多くの方が認知症です。スタッフのジョンは施設で暮らすおじいちゃんおばあちゃんに毎日たずねます。「僕の名前を知っていますか？」でも、答えはいつも「いえ」。何度名前を伝えても覚えていません。そんな彼女たちが挑戦したある取り組みが、彼女たちの毎日を変えていきます。それはスタッフと一緒に、読み書きや簡単な計算などを行うことで認知症の改善を目指すというものです。



エブリン(93歳)は認知症と診断されて2年。自分の名前も書けず、ジョンとの会話も噛み合いませんでした。しかし彼女にも大きな変化が表れます。趣味の編み物を再びはじめ、笑顔でジョンに話しかけるようになりました。そして、かつてお得意だった辛辣なジョークまで復活したのです。そのことは、ジョンやスタッフ、そして家族をも笑顔に変えました。この物語に登場する人たちの笑顔が、私たち誰もが抱える不安を希望に変えるヒントになるはずですよ。

www.bokujohn.jp facebook.com/bokujohn

「脳トレ」ブームの立役者である東北大学・川島隆太教授と、公文教育研究会、介護現場の協力によって生まれた認知症改善プログラム「学習療法」のこと。認知機能が衰えはじめた高齢者とスタッフが、対面コミュニケーションを取りながら、簡単な「読み」「書き」「計算」を行うもので、現在、日本国内で1万人以上が実践しています。

みんなで考えたい 認知症のこと 支え合う優しい社会のこと

2024年1月1日、日本では「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が施行されました。
 また、毎年9月21日は国際アルツハイマー病協会とWHO(世界保健機関)が制定した「世界アルツハイマーデー」です。私たちは、この日この年に認知症について考えるイベントを企画したいと動き出しました。
 そしてドキュメンタリー映画を入り口に認知症を知ってもらおうと、2014年に公開された「僕がジョンと呼ばれるまで」という映画を自主上映することにしました。映画上映以外でも、認知症についてより深く掘り下げる時間を作れたらを思い、素敵なゲストの方々をお招きした企画も準備しております。
 人生100年時代を生きる私たちにとって、「認知症」は避けては通れない問題だと考えます。
 今回のイベントでは、認知症を恐れず、多世代で優しく話しかけ合い、互助する社会を目指したいという願いを込めて開催します。ぜひ会場へ足を運んでいただき、認知症について考えるきっかけになれば幸いです。

b-ane-mone 一同

2024. 7. 21
販売開始

千ヶツツ販売協力店 (9/10まで販売)

- *Amitie' (アミティエ)
 [千人町2-3-4西八王子駅北口徒歩3分
 第1・3土曜日 日曜定休]
- *V. MAESTRO (ヴィ・マエストロ)
 [初沢町1231-5 高尾駅南口すぐ 水・日曜定休]
- *ファミリーヌ
 [栢田町586-5めじろ台駅徒歩9分 日曜・祝祭日定休]

公式Facebook→



【お問い合わせ先】

b-ane-mone
 代表：やぶしたゆかり
 tel : 090-5436-5055
 mail : 802.banemone@gmail.com

【千ヶツツ購入方法】

- ・販売協力店で購入
- ・ネットで購入予約
 (専用フォームから申込みます)